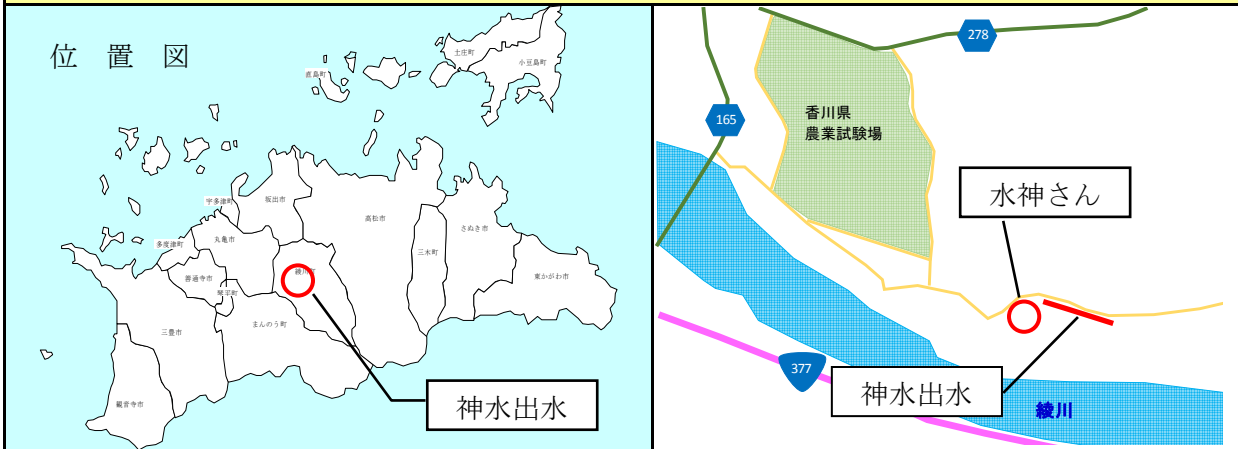


神水出水（しんずいですい）



「神水出水」が位置する綾歌郡綾川町山田地域は、二千年の昔、弥生時代の稲作跡が見つかるなど、太古の時代から農業を営んでいた様であり、現在でも「瑞穂の垂穂のよい米どころ」として有名です。

この地域は、二級河川綾川の沿岸北側に広がる地域であり、古くは旧綾川の広い川底部に位置するため、伏流水^{ふくりゅうすい}を引くのが比較的簡単であり、伏流水を利用した出水がいくつか見受けられます。その中のひとつが「神水出水」です。

この地域の古い記録（蓮井家記録）によると、1534年の大日照りで困り果てた人々は、近くの出水を掘り広げたところ、神水出水が涸れ果ててしまい、広げた出水を打ち壊す騒動があったと言い伝えられています。この騒動があった出水は「水神さん」と呼ばれており、今でも石碑が残っています。

現在の「神水出水」は、ほ場整備事業で改修され、農業用水への利用だけでなく、地域の人々の親水^{おんすい}の場としても利用されています。



神水出水



水神さん